



1枚1枚しっかりと確認していました。

五穀豊穰を願って 御経塚虫送り

かがり火と太鼓が水田の害虫をはらう虫送り。夏の風物詩として、農業とともに歴史を刻んできた野々市に伝わる伝統行事のひとつです。今年も御経塚、富奥、押野の各地区で行われました。御経塚では7月6日(土)、親子連れなど約170人が神社に集まり、手作りの空き缶たいまつを持って地区を練り歩きました。フィナーレは御経塚史跡公園での火文字と大たいまつの点火。御経塚の若衆は、駆けつけた押野や横江の若衆と競い合うように、威勢良く太鼓を打ち鳴らしていました。

自分の将来を見つめて 野々市中学校わくワーク体験

7月2日(火)～4日(休)の3日間、野々市中学校の2年生240人が職場体験を行いました。これからの生き方や進路を模索し始める時期に、仕事の大変さや達成感を味わい、自分の将来を見つめる貴重な機会です。市内外の飲食店や小売店、保育園、建設業など82カ所のさまざまな事業所が受け入れ先として協力しています。北陸鉄道では、2人が改札業務を体験。切符への押印や定期券の確認などを行いました。「駅員体験は楽しい。残り2日も頑張ります」と笑顔で話してくれました。



掛け声とともに夜空に響く太鼓の音は、迫力満点です。



喜多記念館見学の後のはのッティが軒先でお見送り。

のっティと行く のんのんバスツアー 第3回のっティファンミーティング

7月7日(日)、市公式キャラクターののっティのファンミーティングが行われ、県外からの参加者を含むファン21人がぬいぐるみや帽子などののっティグッズを持参して参加しました。今回は、コミュニティバス「のっティ」に乗り、旧北国街道やにぎわいの里のいちカミーノなど、のっティおすすめのスポットを巡るもの。のっティは行く先々で参加者をお出迎えしました。喜多記念館では記念撮影会を実施。参加者は思い思いのポーズでのっティとの思い出を作っていました。



小さいランドセルの中には、大きな愛がつまっています。

交通安全の心をこめて

市女性協議会が手作りランドセルを寄贈

市女性協議会が児童の交通安全への願いをこめたミニランドセルを、野々市小学校放課後子ども教室の参加児童26人へ贈りました。このミニランドセルは25人の会員が、紙製のクラフトテープを使い手作業で作ったものです。

6月26日(水)に会員が野々市小学校を訪れ、澤村会長が「交通事故に遭うことなく大きくなって野々市で活躍してくださいね」と挨拶、一人一人に手渡しました。子どもたちは赤と青の二色から自分の好きな方を嬉しそうに選び、さっそく自分のランドセルにつける子もいました。



まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎227-6056

若者の「やりたい！」が つくるまち

野々市わかもの会議（ゼロ会議）

次の世代を担う若者が自分たちが生活する地域に興味・関心を持ち、行動に移す機会の創出を目的にわかもの会議を開催します。その第一歩として、事前学習会をにぎわいの里のいちカミーノで6月22日(土)に行い、当日は高校生や大学生、概ね25歳以下の社会人や35歳以下のサポート役など約30人が参加しました。

先進地での「わかもの会議」の事例を紹介する講演のあと、「住み続けたいまちにするには、どうすればいいか」などのテーマでグループ別に意見を出し合いました。7月23日(火)に再び事前学習会を行い、本会議は8月25日(日)に開催予定です。



グループで話し合った内容を全体に発表。



先進地の事例を学びました。



たくさんの意見が出ました。



まちも心もすっきり爽やかな朝になりました。

伝えよう！子どもたちにまちを美しくする心 子どもと大人のまちぐるみ美化清掃

7月7日(日)、市内全町内会が一斉に清掃活動を行いました。“ののいちっ子を育てる”市民会議と連合町内会が主催するこの取り組みは、地域に暮らす子どもと大人がお互いの顔を知るよい機会になります。

徳用町内会では徳用南公園や隣接する光松八幡神社、周囲の沿道でごみ拾いを行いました。野々市小1年生の娘と参加した石川さんは「いつも使っている公園なので、みんなで集まって清掃できていい機会だと思います。」と話してくれました。

認知症も老いの「個性」

市民公開講座「認知症を知ろう！」

7月13日(土)、学びの杜のいちカレードで認知症の普及啓発や相談支援体制の紹介を目的に、市民公開講座を開催し、市民など72人が参加しました。冒頭、栗市長は「いきいきと過ごせる健康長寿のまちにしたい」と意気込みを語りました。メインの講演では県立高松病院の北村先生が、認知症についての歴史や病状、支援、予防などを分かりやすく解説。先生の憂いを笑いに変えるユーモラスな口調に、会場からはたびたび笑い声が起こり、とても有意義な時間となりました。



35%は個人の努力で認知症を予防することができるそうです。